

【単年度事業評価様式】

西区地域子育て支援拠点事業
令和3年度重点目標評価結果・令和4年度重点目標

事業実施期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年度目/5か年度)
事業の実施者	特定非営利活動法人シャーロックホームズ
	西区こども家庭支援課
事業目的	<p>市民が安心して子どもを産み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的とします。</p> <p>【事業・施設運営の基本理念】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 西区における、地域による子育て支援の拠点施設としての運営 2 子どもの視点に立ち、すべての就学前児童及びその養育者、並びに子育てに関する支援活動を行う者に開かれた運営 3 子どもと家庭を支援する各種の行政等機関・地域等との連携を図る運営 4 利用者の意見、子育てをめぐる社会情勢、市民ニーズの変化に柔軟に対応できる運営 5 子ども及びその養育者の育ちを支援するとともに、養育者自身が事業の担い手として関わることができる視点に立った運営 6 地域の人と人とのつながりを広げ、地域ぐるみの子育て支援を目指す運営
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 乳幼児の遊びと育ちの場及びその養育者の交流の場の提供(親子の居場所事業) 2 子育てに関する相談及び関係機関との連携に関すること(子育て相談事業) 3 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること(情報収集・提供事業) 4 子育てに関する支援活動を行う者同士の連携に関すること(支援者ネットワーク事業) 5 子育てに関する支援活動を行う者の育成、支援に関すること(人材育成、活動支援事業) 6 地域の住民同士で子どもを預け、預かる支え合いの促進に関すること(横浜子育てサポートシステム区支部事務局運営事業) 7 子育て家庭のニーズに応じた施設・事業等の利用の支援に関すること(利用者支援事業)
事業の評価実施方法及び評価結果の公表方法	<ol style="list-style-type: none"> 1 今年度の取組状況や利用者アンケート結果等をもとに、協働契約書中の役割分担表の項目に沿って設定した、今年度の達成目標のうち、当該年度に特に重点的に取り組む達成目標である「重点目標」について、以下の通り、相互振り返りを踏まえた取組成果と課題を公表します。 2 今年度の取組状況や成果、課題を踏まえ、次年度の重点目標を公表します。

令和3年度重点目標の評価

令和3年度重点目標	西区の子育て情報の収集・整理及び発信手段の拡充を行い、より多くの養育者に子育て情報を提供するとともに、広く区民にスマイル・ポートの事業を周知することで、子育てへの参画を促す。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ひろばに来られない養育者のために、地域の子育て情報を届ける仕組みを構築します。 ・感染症を気にして家から出られない養育者のために、オンラインイベントを開催します。 ・子育てサポートシステムの提供会員増のために、区民のみなさんへの周知活動を行います。
取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・LINE公式アカウントを開設し、毎週配信。ひろばに来なくても情報が手に入れられるプッシュ型の情報発信の仕組みを作った。またInstagramのフォロワー数が前年度末から1年間で2.8倍になった。 ・オンラインイベントを講座とおしゃべりの会という2つの形式で実施し、66人の参加があった。 ・子育てサポートシステムの提供両方会員増に向け、区内小学校への会員募集チラシの配布、広報よこはま西区版での事業の周知、市民活動者への告知、ヒアリングなどを実施、入会説明会参加につながった。
取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・LINEは登録増に向けての取り組み、特にひろばに来られない当事者にいかに周知するかが課題。 ・SNS活用については、それぞれの性質に合った発信内容の充実が課題。 ・オンラインイベントは参加希望者なしによる中止もあった。講座のあり方や周知について再検討の必要あり。 ・子育てサポートシステムに関して、より効果的な周知方法を再考する必要性あり。

次年度重点目標

令和4年度重点目標	西区の子育てを支援する人及び区内の専門機関や団体とのネットワークを強化し、区内の子育て環境の向上をめざすとともに、妊娠期からの支援、ひろばには来られない人への支援に取り組む。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子育て支援を実施している団体との連絡方法を改善して、より緊密に連絡をとれる体制にします。 ・地域の子育て支援者向けの講座を実施し、支援者のスキルアップを図るとともに、支援者同士の連携を図ります。 ・子育てパートナーのアウトリーチを増やし、ひろばに来られない当事者の声をキャッチし最適な支援へと結びつけます。 ・プレママパパ向けの事業を強化します。 ・ひろばに来られない層に向けたオンラインを活用した支援に取り組めます。